



# みらいっうしん

12月号

2021年12月1日  
田園調布学園大学  
みらいこども園  
園長 勝浦 芳子



## 主体性を育む園生活

寒暖差の激しい師走を迎えております。あれだけ猛威をふるった新型コロナですが、ここにきて急速に威力を弱めてきました。ワクチン、季節要因、行動変容などがその要因と言われますが、一方では2カ月サイクルで感染者が増減するという説もあります。まだしばらくは油断することなく、引き続き新型コロナ感染予防に努めてまいります。また、空気が乾いてくるとインフルエンザなどの感染症が流行ってきます。手洗い、うがいを忘れずに、ご家族皆さんで体調管理に努めてください。

さて、最近の子ども達は、好きな場所や遊びを見つけては、楽しみ方を個々に工夫しています。友達との関わりも多くなり、遊びの内容も単純なものから複雑なものに発展させるなど、とことん遊びに熱中している場面が多く見られるようになりました。その反面、子どもは、夢中になりすぎると、周囲の状況をイメージすることや先を見通すことがまだまだ難しく、時には、人に迷惑をかけてしまうこともあります。楽しい気持ちややってみようという意欲は大切にしつつ、「楽しければ何をしてもよい」ではなく、集団生活でのルールや決まりごとなどの規範意識の教育は、周りの大人が、その都度丁寧に伝えることが肝要です。あたたかい指導と放任は紙一重ですが、今後の子どもの成長にとっては、大きく影響がでけますので、私たち職員も、子どもたちの気持ちに寄り添い、丁寧に対応していきたいと思えます。

さて、11月17日、18日に行われた『みらいランド』では、にじ組さんとそら組さんが、思い思いのお店を作り、乳児さんとほし組さんを招待して、「お買い物ごっこ」を楽しみ、人と関わる遊びを味わいました。実は、ここまで来るには、お店屋さんのイメージや意見がなかなかまとまらず、「大丈夫かな？」と、心配になるグループもありました。保育者が根気よく子ども達の思いに近づけながら環境を整えていった結果、当日、そら組さんは、『ケーキ屋さん』『たこ屋さん』『アクセサリー』『アイス屋さん』『お弁当屋さん』『ジュース屋さん』『剣屋さん』『輪投げ』『お化け屋敷』などのかわいいお店が並び、工夫して作った作品を嬉しそうに買い物に来てくれたお客さんに声をかけて売っていました。にじ組さんも、『髪の毛屋さん(美容院)』『ピザ屋』『アクセサリーショップ』『インコショップ』『お絵描きさん』『糸屋さん』『お寿司屋さん』『お菓子屋さん』『レストラン』『銀行』『モグラたたきゲーム』『コースボールゲーム』『火山組み立てゲーム』とバラエティー豊かなお店が並び、「どうしたら、みんなが楽しめるのだろう？」と友達と話し合い、ただ物を売るのではなく、体験できるものを取り入れて、2倍楽しめる工夫がたくさん見られ、まるで文化祭のように活気に溢れていました。また、今回の遊びには、生活そのものが表現されていることも改めて感じ、日頃の経験の積み重ねがしっかり反映していて、子ども達の成長にびっくりしました。また、にじ組さんやそら組さんのお客さんに対してのおもてなしが丁寧で、思いやりの気持ちも伝わってきました。2日目は、にじ組さんとそら組さんもいよいよお買い物に。お店がオープンすると、子ども達の心のボルテージは、最高値に達していて、満面の笑顔で楽しんでいました。今年も、クオリティーが高く、発想豊かな作品が多かったです。日頃から、遊びを通して、主体性を育めるよう環境を整えておりますが「自分で考えて行動する力」が身につけてきていることを改めて実感しました。これからも、「できた、楽しかった」という思いや体験が、次へのステップの土台になり、共に刺激されながらお互いを認め合い、たくさんのことにつながって育って欲しいと心から願っています。



今年も残り1ヶ月余りとなりましたが、子ども達は、普段の園生活でお互いを認め合い、楽しく笑顔で過ごし、共に逞しく成長しています。私たち保育者も、子ども達のパワーに負けないよう連携をしっかりととり、子ども達の安全を第一に考え、一人一人の教育保育に努めて参ります。